

F講座 八峰キャンパス「知る・行く・見る 八峰白神ジオパーク」

会場：あきた白神体験センター
〒018-2617 八峰町八森字御所の台53-1

地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園、ジオパーク。雄大な自然とそこに生きる人々の生活について学ぶ講座です。

【定員 40名程度】 F2・4・6移動学習はバス定員により、全受講お申し込みの方を優先して40名で締め切ります。

5月11日 (土)	F-1	10:15～11:45	世界最大級の原生的ブナ林 ～白神山地の顔、ブナ林ができるまで～	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 工藤 英美 氏
	F-2	13:00～15:30	【バス移動学習】ジオパーク見聞① ～留山で見聞する、ブナ、生態系等～	八峰町白神ガイドの会のみなさん
6月1日 (土)	F-3	10:00～11:30	鉱山がもたらした文化 ～発盛鉱業所と地域の人々の生活～	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 工藤 英美 氏
	F-4	13:00～15:00	【バス移動学習】ジオパーク見聞② ～溶岩が生み出した自然の芸術作品～	八峰町白神ガイドの会のみなさん
6月29日 (土)	F-5	10:00～11:30	砂丘と人々の暮らし ～自然の威力とそこに生きた人々～	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 工藤 英美 氏
	F-6	13:00～15:00	【バス移動学習】ジオパーク見聞③ ～「十八石」、砂丘が田んぼ?～	八峰町白神ガイドの会のみなさん

毎回の講座にバス移動学習が盛り込まれた構成で、地元のガイドの方々に案内していただけるのが魅力の講座でした。ここでは、第1回と第2回の講座の様子について報告します。

5月11日（土）に八峰キャンパス「知る・行く・見る 八峰白神ジオパーク」がスタートしました。ジオパークとは、地球の歴史を学び楽しむことのできる「大地の公園」のことです。この「大地」には、地形・地層はもちろんですが、大地の上に成り立っている自然、温泉や農林水産物などの恵み、そこで暮らす人々が育んだ歴史や文化も含まれます。世界に100地域・日本に33地域のジオパークが存在するとされ、秋田県には「八峰白神ジオパーク」のほか「男鹿半島・大湯ジオパーク」と「美の郷ゆざわジオパーク」があります。

今回は、世界遺産にも登録されている白神山地のブナ林を中心に、ジオパーク内の生態系やブナを育てた大地の構造・地質などについての講義でした。午前は「世界最大級の原生的ブナ林」と題した八峰白神ジオパーク推進協議会の工藤英美会長による講座、午後は「ジオパーク見聞①」と題して実際に留山を歩く移動学習でした。午後の講師は、八峰町白神ガイドの会の木村清子氏で、ブナの生態や造山活動についてわかりやすく説明されました。受講者の方々からは、「午前の座学の内容を踏まえて、午後に現地で学ぶという構成がよかった」などの感想が寄せられました。



岩石について講義をする工藤氏



留山を散策（八峰キャンパス）